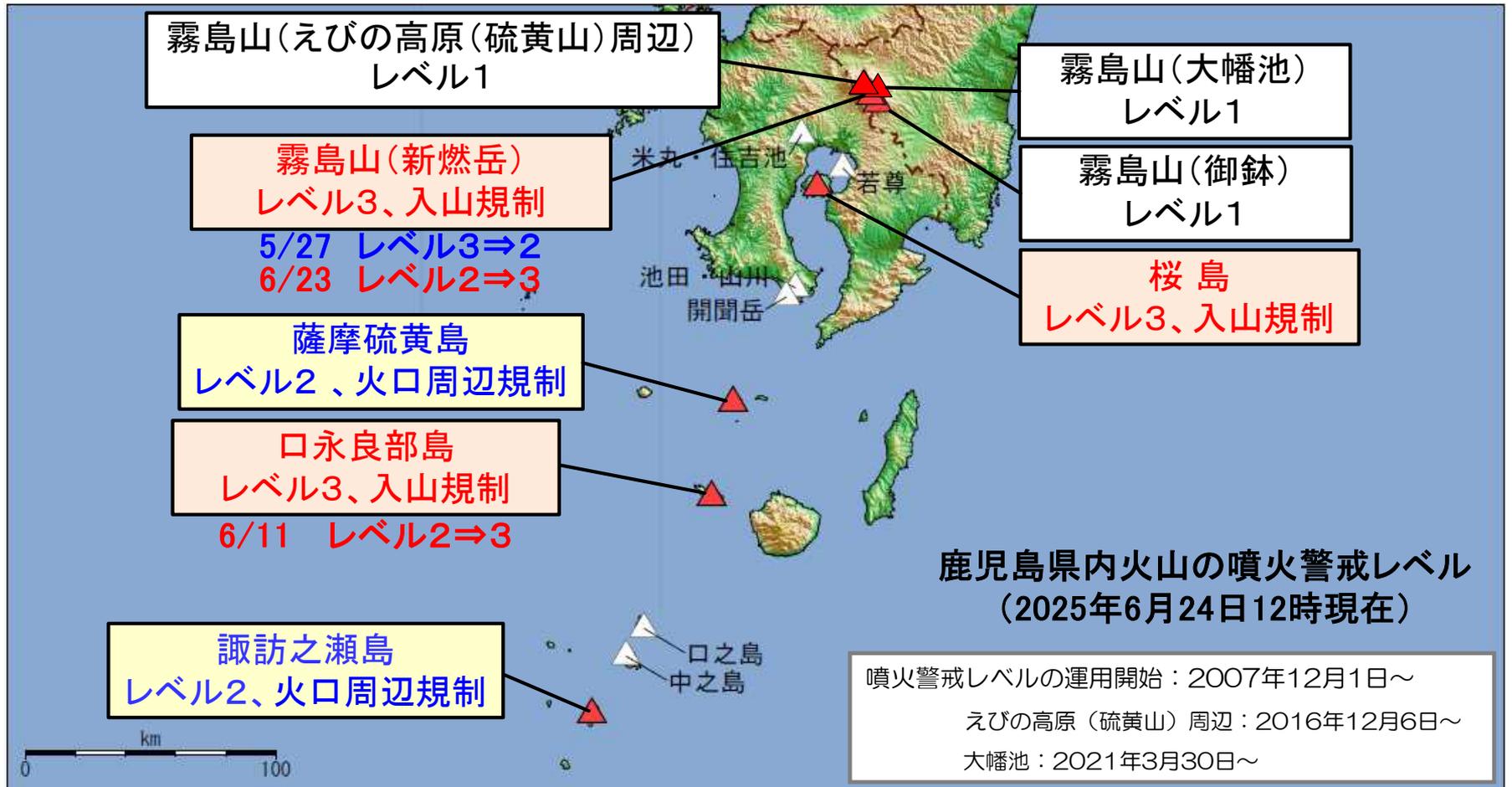


鹿児島県の火山活動概況

2025年5月～2025年6月19日

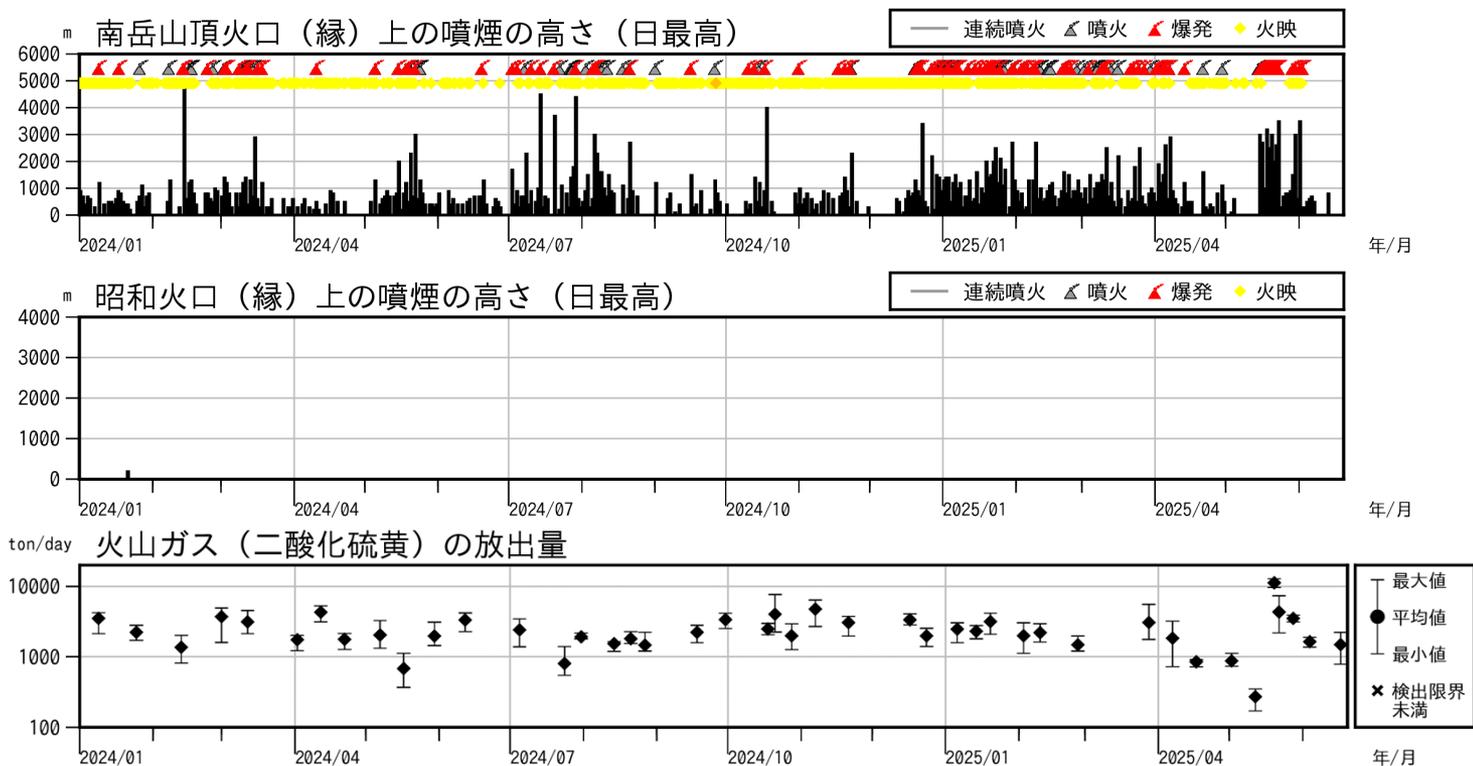


桜島 噴火警戒レベル3(入山規制)

警戒範囲: 火口から概ね2km
(2022年7月27日20時00分発表)

5月以降の主な状況

活動評価	始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態であり、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は概ね多い状態であることから、今後も噴火活動が継続すると考えられる
噴火活動	[南岳山頂火口] 5/12からの山体膨張に伴い、5/15～5/23にかけて活発な噴火活動がみられた 噴火回数 6月(19日まで):2回(うち爆発:2回) 5月:146回(うち爆発:79回) 5月23日18時56分の爆発:噴煙の高さは火口縁上3500m以上 [昭和火口](ごく小規模含め)噴火は発生せず
火山ガス	噴火活動の活発化前後で大きく変化 900、300トン/日(5/2、5/12) 11,200～1,500トン/日(5/20以降)

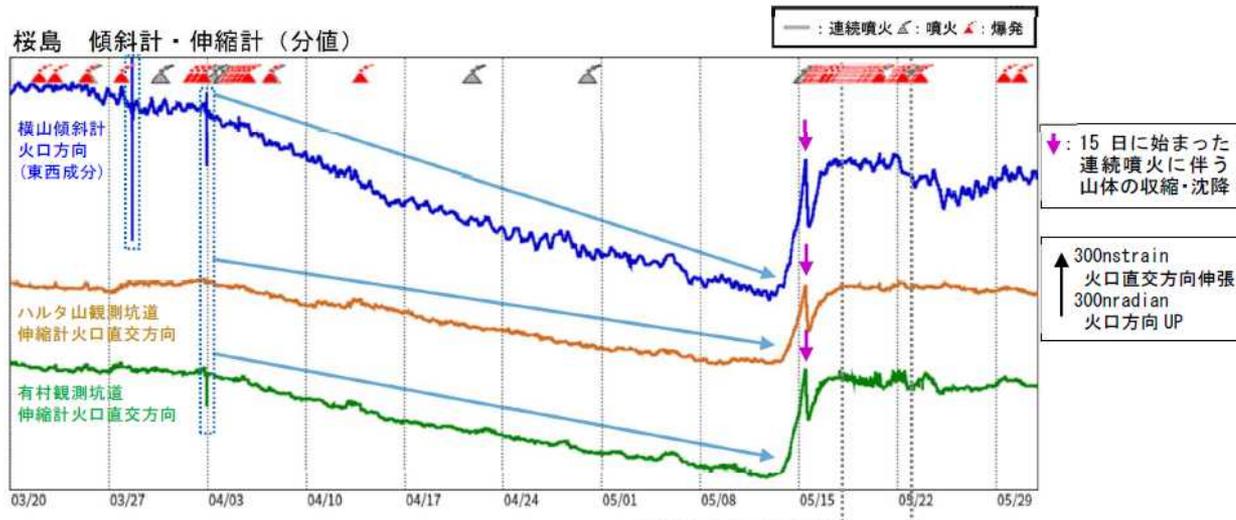


桜島 噴煙・火山ガス活動推移(2024年1月～2025年6月19日)

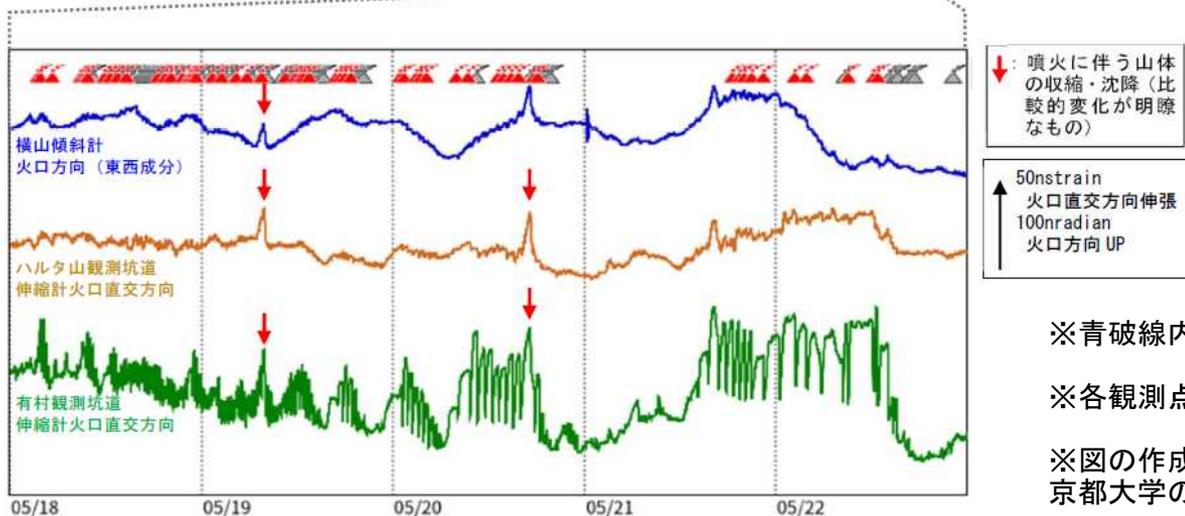
5月以降の主な状況

傾斜・伸縮

4月上旬頃から山体の収縮(沈降)に伴う変化が認められたが(青矢印)、12日夜から膨張(隆起)に転じた。この膨張(隆起)は15日に始まった連続噴火に伴い一部解消したものの(紫矢印)、その後も膨張(隆起)した状態で経過。



傾斜計及び伸縮計による地殻変動の状況
(上段:2025年3月20日~5月31日)



(下段:2025年5月18日~22日)
18日から22日にかけては、噴火や爆発に伴うわずかな山体の膨張(隆起)と収縮(沈降)が数十分~数時間間隔で繰り返されました

※青破線内は遠地地震などの影響と考えられます

※各観測点のデータには、潮汐補正を行っています

※図の作成には、大隅河川国道事務所の有村観測坑道及び京都大学のハルタ山観測坑道の観測データを使用しています 3

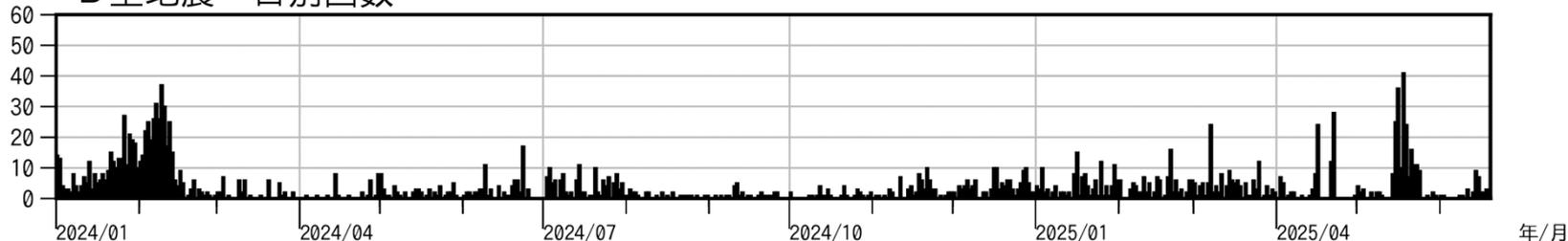
桜島 噴火警戒レベル3(入山規制)

警戒範囲: 火口から概ね2km
(2022年7月27日20時00分発表)

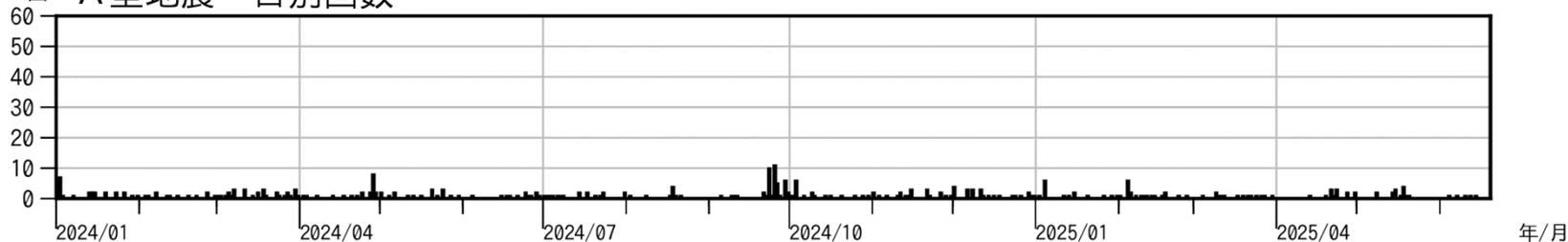
5月以降の主な状況

震動現象	5月15日からの噴火活動の活発化に伴い一時的にやや多い状態となったものの、概ね少ない状態
G N S S	長期にわたり始良カルデラの地下深部の膨張を示す緩やかな伸びがみられる

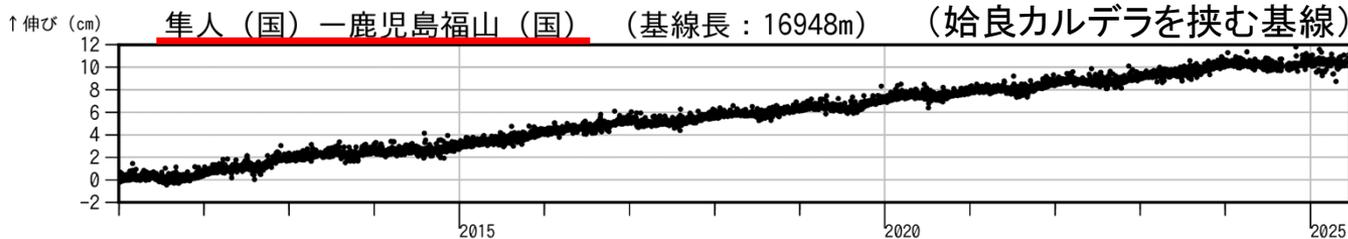
回 B型地震 日別回数



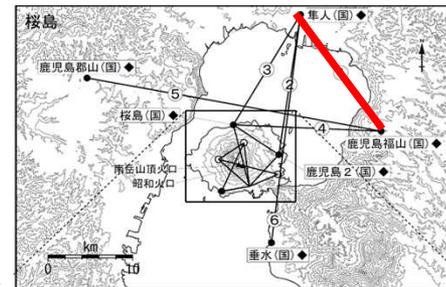
回 A型地震 日別回数



桜島 地震活動推移(2024年1月~2025年6月19日)



桜島 GNSS基線長変化図(2011年1月~2025年6月19日)



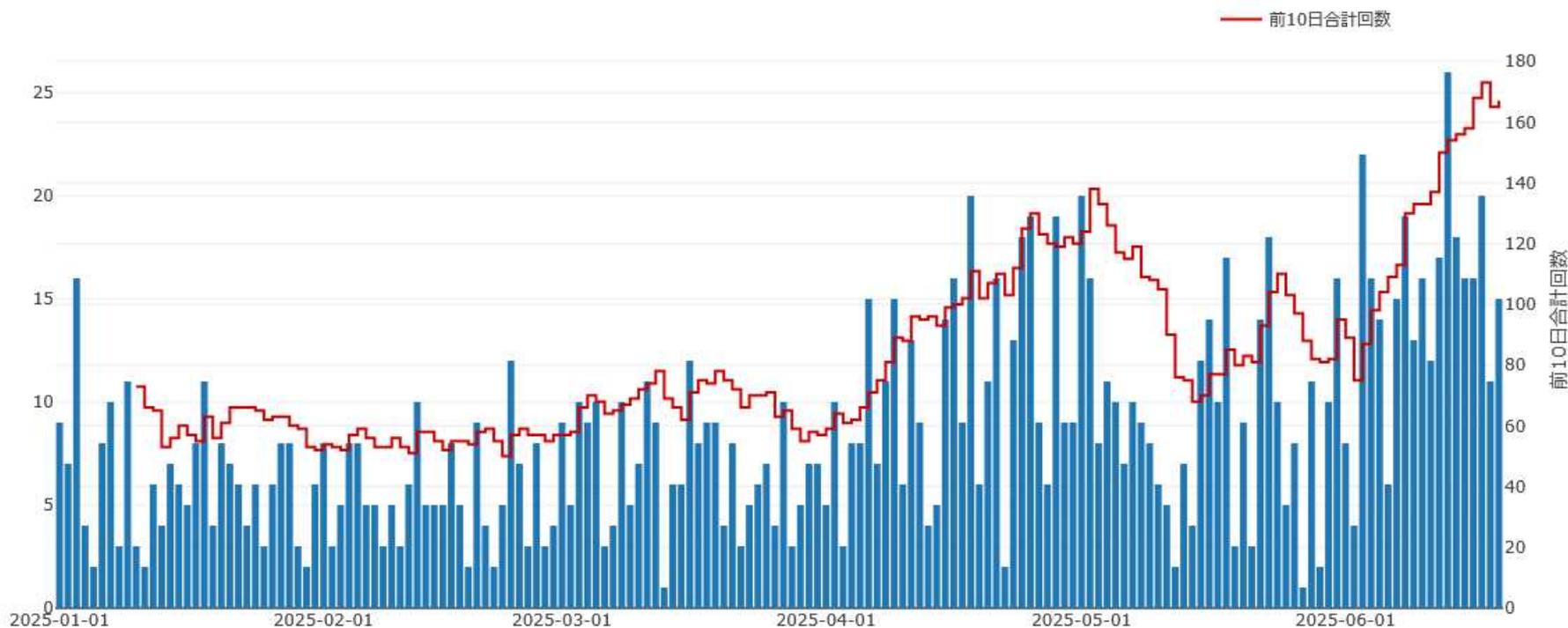
口永良部島 噴火警戒レベル3(入山規制)

警戒範囲:新岳・古岳火口から2km、西側は海岸まで
(2025年6月11日21時00分発表)

5月以降の主な状況

活動評価 火山活動が高まった状態、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒

震動現象 4月上旬から山体の浅いところで地震活動が活発化、火山性地震が多い状態



口永良部島 火山性地震日別回数(2025年1月～2025年6月19日)

口永良部島 噴火警戒レベル3(入山規制)

警戒範囲:新岳・古岳火口から2km、西側は海岸まで

(2025年6月11日21時00分発表)

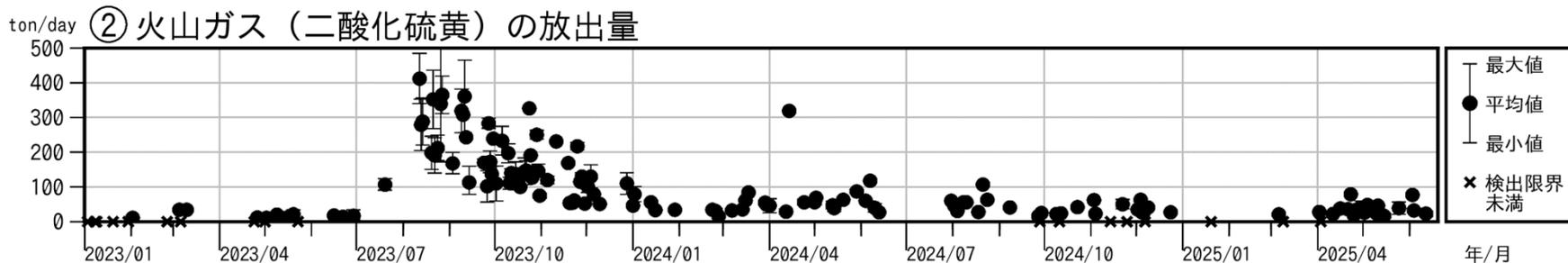
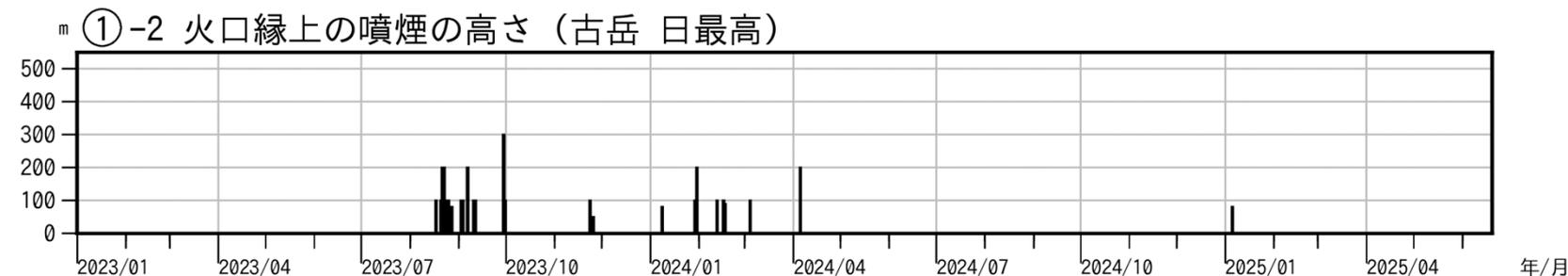
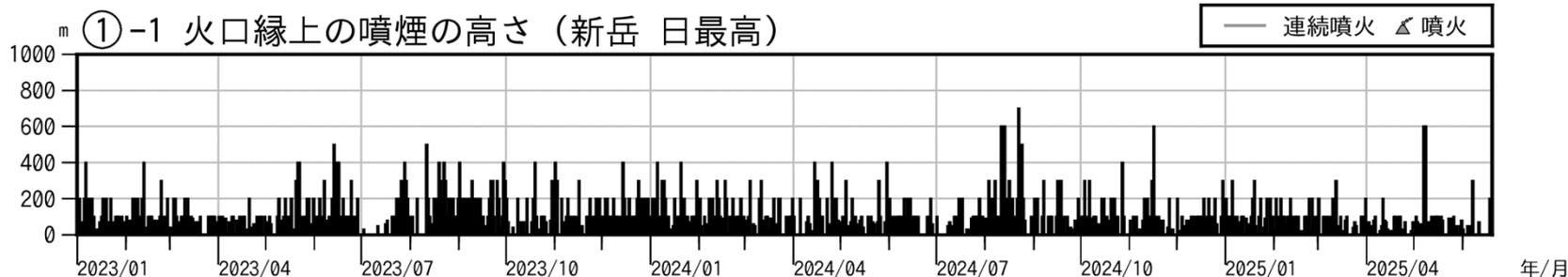
5月以降の主な状況

噴煙活動

[新岳火口] 白色の噴煙を観測 最高600m
[古岳火口] 監視カメラでは火口縁を越える噴煙は観測されていない

火山ガス

二酸化硫黄の放出量は1日あたり20~80トンと少ない状態で経過



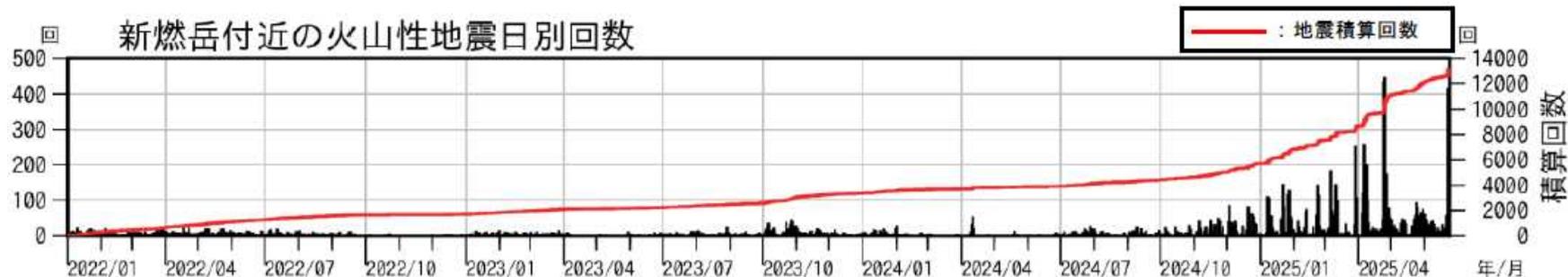
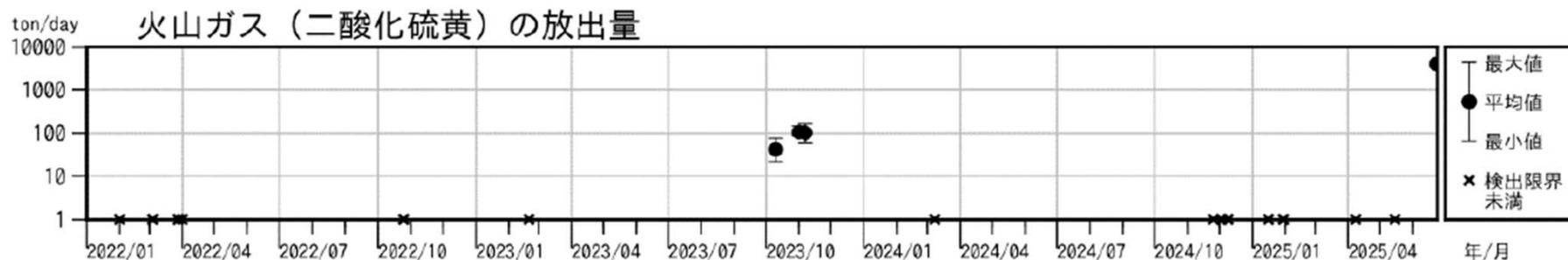
口永良部島 活動経過図(2023年1月~2025年6月19日)

新燃岳 噴火警戒レベル3(入山規制)

警戒範囲:火口から概ね3km
(2025年6月23日18時30分発表)

5月以降の主な状況

活動評価	火山活動はさらに高まった状態、新燃岳火口から概ね3kmの範囲では大きな噴石などに警戒
火山ガス	6月23日の観測では火山ガス（二酸化硫黄）の1日あたりの放出量が4,000トンと急増
震動現象	2024年10月下旬頃から火口直下を震源とする火山性地震が増減を繰り返している



新燃岳 火山活動経過図(2022年1月～2025年6月23日) ※6月23日は速報値

新燃岳 噴火警戒レベル3(入山規制)

警戒範囲:火口から概ね3km
(2025年6月23日18時30分発表)

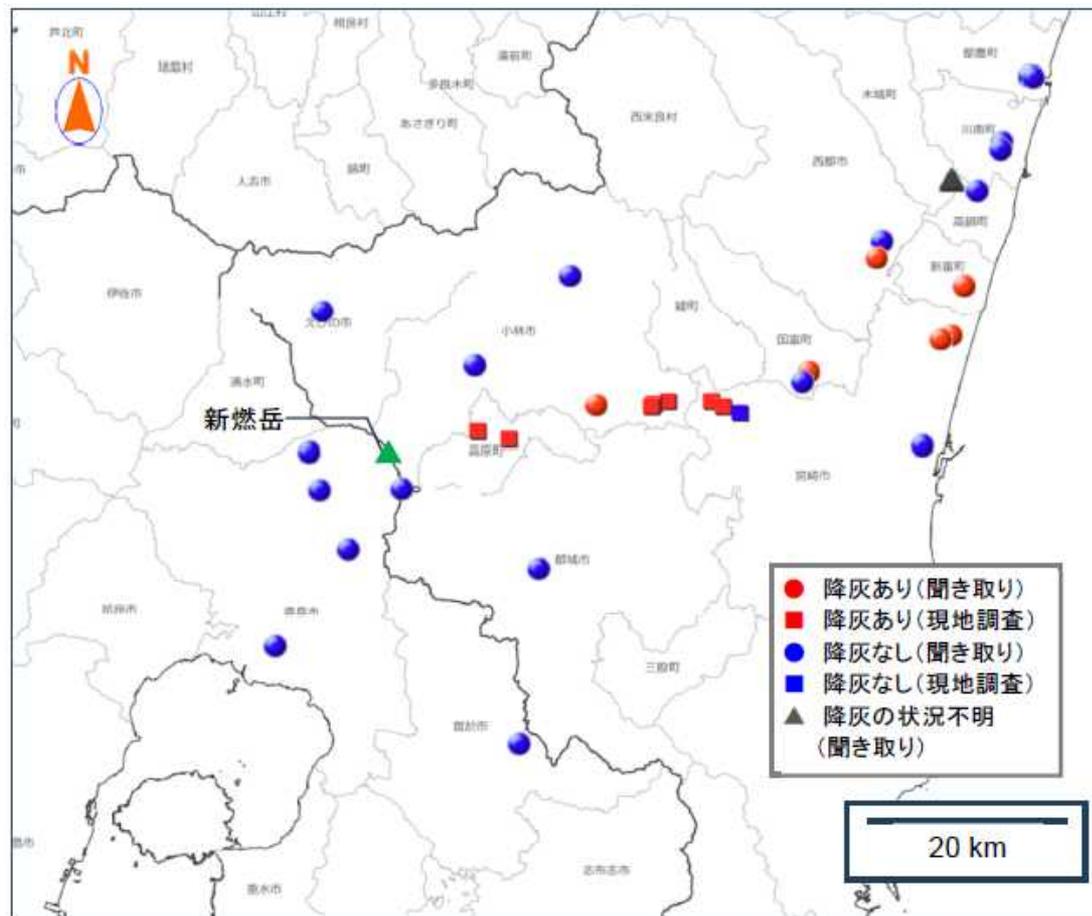
6月22日の噴火に伴う噴煙・降灰状況

噴煙・降灰

6月22日16時37分頃から17時55分にかけて噴火を観測、噴煙は最高で火口縁上500m以上
(新燃岳で噴火を観測したのは2018年6月27日以来)
同日実施した降灰調査では、新燃岳の北東側の広い範囲で降灰を確認



新燃岳 噴火に伴う噴煙の状況
(6月22日16時39分 八久保監視カメラ)



新燃岳 降灰分布図(6月22日18時時点)
新燃岳の北東側の広い範囲で降灰を確認